

## インドネシアには自動車整備士が必要だ！

### ■ 実施団体：

愛媛トヨタ自動車株式会社

### ■ 対象国・地域：

インドネシア国

### ■ 現地カウンターパート

- ・労働省 訓練・生産性開発局
- ・バンタエン県職業訓練校、及び全国の職業訓練校

### ■ 協力内容：

- ・国立職業訓練校配属の自動車整備インストラクターの再訓練
- ・インドネシア自動車産業界が求める整備士育成カリキュラムの構築

### ■ 団体のこれまでの取り組み：

- ・地元愛媛の小学校への出前授業、タイ北部への物資支援
- ・日本の中古緊急車両（救急車、はしご車）累計214台（2023年時点）をインドネシア全土に寄付
- ・先行実施したフェーズ1（2016-2018）でのバンタエン県職業訓練校のカリキュラム開発

### ■ 事業実施の背景：

- ・地元大学留学生のインターン受け入れをきっかけにインドネシアの交通事故の現状を知り、会社を挙げて整備士育成（＝交通事故防止）に取り組むことを決意



## インドネシア国の課題と成果

- 課題①** 経済成長を背景にモータリゼーションが進む一方、車両の整備不良による事故が急増
- 課題②** 職業訓練校のカリキュラムが未整備で卒業しても自動車整備できない

- 成果①** 従来3カ月であった訓練カリキュラムを1年間に延長し標準化。
- 成果②** 全国の職業訓練校から選抜した10名の日本研修によりハイブリッド車等の整備技術を伝授。
- 成果③** 日本が帰国した10名が他校の同僚や自校の学生を指導し全職業訓練校のレベル向上に着手。
- 成果④** カイゼンした新カリキュラムの試行結果を管轄省（労働省）に提出し全国展開を提言。

## 事業の波及効果



### 全国レベルで取り組みが進む！

- ・新カリキュラムを導入した訓練校では卒業生の就職率が急増し、労働省がカリキュラム充実の重要性を認知しただけでなく、標準化された新カリキュラムを実践できる講師を全国に展開することで、全国レベルで学生の就職率向上、就職先民間整備工場の技能向上、ひいては整備不良車両による交通事故減少への取り組みが進む。